

梅雨の季節になりました。雨が続くとどんな思いが出ますか。うっとうしい、なんで晴れない、雨具の荷物が増える、等々何時も不平不満を垂れ流してはいないでしょうか。日常の会話の中でも嫌な季節になったとか、降ったりやんだりややこしいとか、長雨は嫌だとかやっぱり天気に対する不平不満、文句を言い合うことがご挨拶になっているのです。

不平不満が挨拶になる位あなた方はものごとに常に文句を言い、不平を不満を不服を言っているのです。欲っただけで傲慢で文句たれが人類の姿です。そこには喜びはありません。生かされている、すべて良し、そんな思いの一かけらだってありません。

不平不満はやがて責任転嫁になり、やがて攻撃破壊になってゆきます。人間は自然すら攻撃の対象にしているのです。神や自分の本質を捨て、攻撃することなどたやすいことなのです。

一度雨音をゆっくりと聞いてごらん下さい。どんなに優しいか。温かいか。伝わって来るのは温もりしかないことに気づかれるはずです。そうやって自然に接し、親しむ心を人間だけがどんどん失っていったのです。しかし人間が失おうと自然は変わらず優しい波動を流し続けています。その波動をいつも感じられるあなたであってください。自然は温もり、喜びの存在です。人間も本来は喜びの存在です。自然の姿を通して本来の姿に目覚めてゆきましょう。